

# 古い道具と昔の暮らし

～未来を担う一人として、未来の子どもへメッセージを～

<b>校種・学年</b>	小学校・第3学年	<b>教科等</b>	社会科
<b>時間・学期(月)</b>	9時間・後期(1月)	<b>副読本</b>	P4「世界の平均気温の推移」
<b>準備等</b>	写真資料		

## 1 ねらい

昔の道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子について調べ、人々の生活の様子が道具とともに移り変わってきたことや、人々の暮らしの中の知恵や工夫、願いについてとらえることができる。また、人々の生活の様子が道具とともに移り変わってきたことで環境問題が起こっていることを知り、未来の子供たちにメッセージを作成する。

## 2 伸ばしたい資質・能力

- 自分が伝えたいことを相手に伝える力
- 相手の立場に立って考える力

## 3 指導計画(全9時間)

時間	主な学習活動・内容等
1	○身のまわりにある古い道具に関心を持ち、古い道具探しを行って、不思議に思ったことをカードに記録する。
2	○古い道具を体験し、その道具を使っていた頃の暮らしに着目して学習問題をつくり、学習計画を立てる。
1	○挿絵をもとに、昔と今の暮らしの違いを話し合い、昔の暮らしの様子について関心をもつことができる。
2	○地域にある博物館や郷土資料館などを訪ねて、昔の暮らしの様子を調べ、わかったことを整理する。
2	○これまで調べたことをもとに道具年表をつくり、暮らしの変化を人々の願いや知恵、努力と関連付けて考える。
1	○これまでの学習を振り返り、心に残ったことや感じたことを自分も未来を担う一人として、未来の子供へメッセージを作成する。

## 4 本時の学習指導(本時 9/9)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
5	○これまでの学習を振り返る。	○学習したことをもとに、これからの道具の発展や暮らしの変化について考えさせる。
10	○本時の課題を知る。 熊谷の未来の子供へメッセージを書こう。	★P4「世界の平均気温の推移の」から近年になるほど、気温上昇が加速していることを知るきっかけにする。
10	○熊谷の未来の子供へメッセージを書く。	○様々な立場に立って便利さについて考えさせるようにする。
15	○メッセージを発表する。 ・グループ ・全体	○友達のよいと感じたところをメモさせる。
5	○本時の振り返りをする。	○昔と今の道具の違いについて再度比較させてまとめにつながるようにさせる。

**5 他教科等とのつながり**

- 5年家庭科「はじめてみよう クッキング」
- 6年家庭科「クリーン大作戦」

**6 社会とのつながり**

- 家庭や地域の人たちとの対話

**7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）**

- 家庭や地域の方に、調べたことを伝えるとともに、これからについて一緒に考える機会をもつと、学習がより深まる。
- 学習したことを基に自分たちにできることを選択・判断させるために、学習前の自分の考えを記録し、活用することで、学習を通して自分の考えがどうなったのかが実感できる。
- 自分の考えの変容が、具体的な行動にどう表れるかについて、「エコライフデー」を活用するとよい。

**8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など**

- 道具が便利になることも大切だが、環境を考えながら進化させたり、使ったりすることが大切だと思った。
- 人々の生活の様子が道具とともに移り変わってきたことで、環境問題が起こっていること、そして、自分達が今後の未来の子供にエコ活動や無駄をなくすことをしてあげられることがわかった。
- 自分たちも未来の子供たちのために、環境を考えた道具の使い方をしたいと思った。

**9 研究協議の内容**

- 本時に至るまでの過程で、昔の道具と現在の道具をしっかりとっておくことが必要。
- 昔の道具が決して悪いわけではないことをおさえる。
- 現在の状況をしっかりと考えさせた上で、メッセージを書かせた方がよい。